

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

県政をもっと身近に



<http://www.araikinuyo.jp>

都市農業対策やエコ10の推進などに着目 今期は環境農政部門の常任委員会に所属

神奈川県議会では議員が所属する常任委員会と特別委員会を1年ごとに決めています。5月23日から1年間の今期の所属が決まりました。私は初めてとなる環境農政常任委員会の委員、社会問題対策特別委員会の副委員長に就きました。また所属の自民党県議団では政務調査会副会長を務めることになりました。

県議会には8つの常任委員会がありますが、環境農業委は文字通り人間が生きていくうえでベースとなる農業と環境両部門の県の施策について審議し、提言を行っていく役割を担っています。これらに関連する2017年度の当初予算は一般会計が270億7763万円、特別会計が88億5246億円となっています。多様な施策の中で私は農業では主に「スマート農業の推進、女性の農業の担い手育成など都市農業対策」「県内産木材の活用」「森林への悪影響を与えたり農業被害をもたらす鳥獣による食害被害対策」、環境では「水源環境保全・再生への取組み」や「地球環境の汚染を進めないための活動として県内の自治体、民間事業所、市民が連携して取り組んでいる『エコ10』運動の推進」などに着目しています。

都市農業では狭い土地で野菜や花を温室栽培するケースが目立ちますが、スマート農業は最新の情報通信やロボットの技術を使ってさらに生産性を高めたり、品質の向上を図っていくというものです。また農業では特に担い手の育成にも力を入れています。今年度、初めて女性に絞っての研修、アイデアを活かし新商品の開発などに必要な経費への補助制度をスタートさせました。県内産の木材の活用事業は森林が二酸化炭素吸収源でもあり、農と環境対策がリンクした施策としても注目されます。事業の一環で県内産木材を利用した公共施設整備に補助する制度はありますがこの該当を受けた施設は2015年度までに71件に上っています。鳥獣被害対策として県では今年度の一般会計当初予算に3億2634万円を計上しており、市町村とともに対策を効果的に進めていく必要があります。県では最近、第4次ニホンジカ管理計画(2017~2021年度)を策定しましたが、これまでの対策でも丹沢のシカによる森林への悪影響の改善が見られず、シカの生息は箱根や相模原市緑区にも広がっているといえます。「エコ10」はそれぞれがエコ対策につながるさまざまな具体的な取組み10個を選んで活動していくもので、主要な環境対策事業のひとつ。5月末には横浜でフェアも開催され盛り上がりしました。



コレが言いたい!

「水源環境保全・再生への取組み」では個人県民税の超過課税等を財源とする水源環境保全計画も今年度から第3期を迎えます。用途を明確にすると共に、良質で安定的な水の供給のための取組が確実に進む様計画の進捗状況をチェックしていきます。また、社会問題対策特別委員会では子どもの健全育成、高齢者支援、地震・災害対策や交通安全対策など幅広い事項を審議していきます。



6月は「環境月間」です。県をはじめ市町村や様々な団体・企業が環境に関するイベントを開催します。例えば、県環境科学センター(平塚市)では月間中の土日に「環境活動実践講習会」、東京ガスは小学校を中心に「環境にやさしい食事づくり教室」、(一社)日本自動車連盟で「実車を用いたエコドライブ講習会」など実施します。

磯子あれ? これ?

さわの里小学校

さわの里小学校は、氷取沢小と上中里小の児童数が減少したため、平成19(2007)年4月1日に統合して旧上中里小学校の施設を利用して開校しました。児童数は各学年2クラスの316名です。両校の統合は、横浜市のモデルケースとしておこなわれました。一方、旧氷取沢小学校は改修して特別養護老人ホームと上笹下地域ケアプラザとして活用されています。

同校の年中行事では、1年生と幼稚園児との交流会や2年生の農業体験授業、4年生の二分の一成人式(10歳)を祝う会、縦割り活動でなかよしグループによる金沢動物園でのオリエンテーリングを実施、また6月の行事の一つとして外国人教師による全校児童参加のさわの里小英語村(English Village)を開村して、各学年のレベルに合わせてゲームや唄、ダンス、読書会、英会話などに取り組んでいます。

3年ほど前から同校の隣にある県立磯子高校の生徒たちが、さわの里小学校の運動会でのお手伝いや防犯に役立つ寸劇の披露を行い交流活動がおこなわれています。

昨年の創立10周年記念式典では、児童たちによるお囃子の演奏が披露され、式典に花を添えました。また、旧上中里小の卒業生でミュージシャングループ「EXILE」のメンバーのHIROさんから子供たちにメッセージが届くサプライズがありました。

参考: 学校長の話、さわの里小学校ホームページ

活動報告



政務調査会副会長として、政策立案に向け議論しています。

神奈川県が所有し、県民ホールの指定管理者「神奈川芸術文化財団」が保管している棟方志功の版画「宇宙讃(神奈雅和の柵)」がカラーコピーの複製に入れ替わっていた事件が発覚しました。それを受け、5月15日、16日の両日委員長を務める県民・スポーツ常任委員会を緊急に開催し、神奈川芸術文化財団の関係者を参考人招致し棟方志功作の版画紛失に係る経緯と再発防止に向けての審議を行いました。

あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月 県議会議員2期目当選
- 県民・スポーツ常任委員会委員長
- 社会福祉審議会委員

